

# なし新品種「にっこり」の育成

## 1. 育種のねらい

本県のなし栽培では、「豊水」より晩生で品質の優れた品種が少なく、しかも「幸水」、「豊水」の2品種で栽培面積の90%を占めており、作業労力の集中、災害や価格変動に弱いなど、品種構成上問題があった。

そこで、「豊水」より晩生で品質の良い品種の育成を進めてきた。

## 2. 育成経過

昭和59年に農業試験場本場において、大果で晩生種の「新高」を母親に、品質の良い「豊水」を父親として交配し、種子を採取した。昭和60年に播種し、32個体の実生苗を育成した。昭和61年に実生苗から穂木を採り、「長十郎」に高接ぎし平成元年に第1次選抜をして、系統名「2-11」とした。平成4年から特性調査を実施し、平成6年3月に「にっこり」の名称で品種登録を出願した。平成6年10月に現地調査、平成8年5月内定公表があり、8月22日に登録された。

## 3. 特性の概要

- (1) 樹勢はやや強く、枝の発生、短果枝及び腋花芽の着生はやや少ない傾向である。
- (2) 開花期は早く「新高」とほぼ同時期である(表-1)。「筑水」、「幸水」、「豊水」、「長十郎」、「新高」、「新興」と交配親和性がある。しかし、自家結実性はない(表-2)。なお、花粉は少ない方である。
- (3) 収穫期は10月下旬で「愛宕」とほぼ同時期で、「豊水」、「新高」より遅く、「新雪」より早く収穫できる(表-1)。
- (4) 果実は、800～900gの大果で、果皮は赤褐色、果形は円である。また、有てい果が混在する。
- (5) 肉質は軟らかく、糖度は12%程度、酸味は弱く、「新高」、「愛宕」、「新雪」より食味は良好である(表-3)。
- (6) 果実への生理障害の発生もなく、日持ちは75日程度と良い品種である。
- (7) 黒星病、黒斑病、輪紋病には強く、通常の防除で十分対応できる。なお、えそ斑点病は病徴発現性であり、紫変色枝枯れ病が、発生することもある。

## 4. 成果の要約

なし新品種「にっこり」は、昭和59年農業試験場本場において、「新高」に「豊水」を交配して育成したもので、平成8年8月に品種登録された。収穫期は、10月下旬で、果実は赤褐色で800～900gと大果である。果形は円で、肉質は軟らかく、糖度は12%程度、酸味は弱く、食味は良好である。また日持ちは、75日程度と良い。えそ斑点病は病徴発現性である。

(担当者 果樹部 高橋建夫)

表-1 生育特性

品 種 名	開花期(月. 日)			収穫期 (月. 日)		
	始	盛	終	始	盛	終
にっこり	4. 19	4. 22	4. 25	10. 19	10. 27	10. 31
豊 水	4. 22	4. 24	4. 27	9. 10	9. 22	9. 30
新 高	4. 18	4. 21	4. 24	10. 1	10. 13	10. 19
愛 宕	4. 16	4. 19	4. 24	10. 18	10. 28	11. 4
新 雪	4. 22	4. 24	5. 1	10. 30	11. 6	11. 9

注) 栃木農試平成4～7年の平均値。

表-2 にっこのりとの交配親和性

組み合わせ		結実率 (%)	組み合わせ		結実率 (%)
(♀)	(♂)		(♀)	(♂)	
にっこり	筑 水	100	幸 水	にっこり	84
にっこり	幸 水	100	豊 水	にっこり	95
にっこり	豊 水	94	長十郎	にっこり	95
にっこり	長十郎	90	新 高	にっこり	100
にっこり	新 興	90	新 興	にっこり	80
にっこり	にっこり	0			

表-3 果実品質

品 種 名	果 重	糖 度	酸 度	硬 度
	g	Brix%	p H	ポンド
にっこり	828	12. 1	5. 09	4. 7
豊 水	398	12. 7	4. 59	4. 6
新 高	584	12. 0	4. 60	5. 9
愛 宕	752	12. 5	4. 24	6. 0
新 雪	723	12. 6	4. 34	6. 4

注) 栃木農試平成4～7年の平均値。